

MUSEUM
SENKOKU
MUSEUM

泉屋博古館



旅する 絵画



田能村竹田
梅溪閑居図(部分)
江戸・文政10年(1827)
泉屋博古館



画家が旅する
絵が旅する
絵の中を旅する

住友コレクションの文人画

2022 3.26[±] - 5.15[Ⓞ]

休館日:月曜日

開館時間:午前10時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入館料:一般800円、
高大生600円(中学生以下無料)

※企画展・青銅器館両方ご覧いただけます

*20名以上は団体割引20%、

障がい者手帳ご呈示の方は無料

主催:公益財団法人泉屋博古館、京都新聞

後援:京都市、京都市教育委員会、

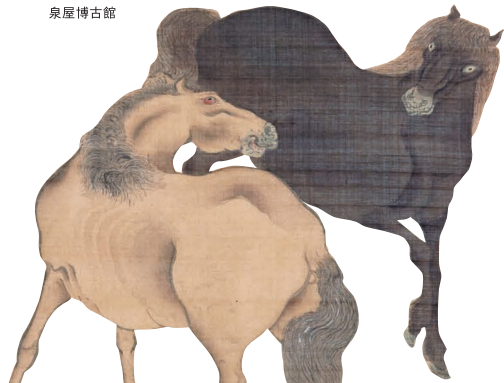
京博連、

公益社団法人京都市観光協会



会 画 画

与謝蕪村
風雨樹下牧馬図(部分)
江戸時代(18世紀)
泉屋博古館



青銅器館にて同時開催 「中国青銅器の時代」 「コーナー展示 住友財団助成修復完了記念 モンゴル匈奴墓出土 漢代紀年漆器」

旅スル 絵画

住友コレクションの文人画

「万巻の書を読み、万里の道を行く」

——旅は、読書とならび

文人がもつとも大切にしていた営みでした。

未知の空間に踏み入り見聞を深め、

山河の氣に触れることを重視していたのです。

江戸時代の文人画家たちも多く旅に出ました。

旅先では、美しい風景や、

優れた師・心通じる友との出会い、

そして先人の貴重な絵画や書などに接する

機会でもありました。

逆に大切な絵を携えて旅先で

共に鑑賞することもしばしばでした。

自らの内面を心の赴くまま自由に筆墨に託す

文人画家にとって、そういった体験が

制作の滋養となったことはいうまでもありません。

しかし楽しみはそれだけではありません。

文人にとって絵の中を旅すること——

描かれた理想の天地に身をおくことこそ

最大の醍醐味でもありました。

住友コレクションより「旅」をキーワードに

江戸時代の文人画を展覧します。

長崎に来船して多大な影響を日本に与えた沈南蘋ら

中国の画家の作品もあわせてご紹介いたします。

中国・宋の詩人の旅に画中で道連れ



中林竹洞
前赤壁図
江戸・天保10年(1839)

大雅・蕪村への
オマージュ。
原作を借りて
はるばる大坂に
持ち帰る



十時梅屋
十便十宜帖
江戸・寛政13年(1801)
【頁替えあり】



尾道滞在の
思人に
描き贈った
瀬戸内の
海の幸
浦上春琴
蔬果蟲魚帖
江戸・天保5年(1834)
【頁替えあり】

薩摩の旅で心通じる友と出会う

語らう姿は
「表面」の拡大図です！



田能村竹田
梅溪閑居図
江戸・文政10年(1827)

岡田半江
溪柳春酣図
江戸・天保11年(1840)

どうして山は変な形なの？→山には“氣”が宿ると
されたから、時に生き物みたいに見えるのです。

文人が旅をするのはなぜ？→大自然に宇宙の摂理を觀、その生命に触れ
力を養うため。もちろん、知的な刺激に美味なる酒食も。



日根対山
四季山水図巻(部分)
江戸・安政6年(1859)

長さ約5m、
巻物の旅は
山あり谷あり

泉州の豪商愛蔵の中国名画。
各地から見学者が後をたたく
主人は旅に携えて友に披露も。
文人らの熱狂ぶりをしのぶ
記録類も特別展示します。

周之璧 溪澗松濤図 清・順治3年(1646)



会期中の催し

すべて入館料のみでご参加いただけます。

会場：当館講堂／各定員：40名／先着順

予約期：3月15日(火)午前10時より受付開始

当館ホームページ・電話075-771-1641にて

スペシャル・トーク

① 4月17日(日) 13時30分～15時

「サロン」展からみた住友コレクションの文人画

平井啓修氏(京都国立近代美術館主任研究員)

② 4月30日(土) 13時30分～15時

「文人と泉南・京大坂との往来」

富田博之氏(南泉州史遊会 泉佐野市立歴史館いすみさの元学芸員)

スライド解説

4月6日(水)、5月7日(土) 14時～15時

実方葉子(泉屋博物館学芸部長)

特別講座「蘇る漆器——モンゴル出土

4月9日(土) 13時30分～16時

「モンゴル国の匈奴の遺跡」

大谷育恵氏(京都大学白眉センター特定助教)

「漢代の漆器を保存修復する」

岡田文男氏(京都芸術大学客員教授)

連携割引 本展の半券提示で、左記展覧会の入館料が
団体料金になります。

京都国立近代美術館

「サロン」雅と俗—京の大家と知られざる大坂画壇

3月23日(水)～5月8日(日)

詳しくは館内または各館ホームページでご確認ください。

新型コロナウイルス感染症予防拡散防止のため、予定を変更・
中止する場合がございます。当館のホームページ・Facebook
Twitter等最新情報を確認ください。

泉屋博物館

SEN-OKU
HAKUKOKKAN
MUSEUM

〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

TEL 075-771-6411

https://www.sen-oku.or.jp/kyoto

交通 京都市バス

5、93、203、204系統

「東天王町」下車、東へ200m

32系統(宮ノ前町)下車すぐ



青銅器館にて同時開催

「中国青銅器の時代」

「コーナー展示

住友財団助成修復完了記念

漢代紀年漆器

遊牧民族と中国漢王朝との交流を示す二千年前の貴重な漆器。
日本での保存修理が終わり帰国前に特別公開します。



沈銓(沈南蘋)
雪中遊鬼図(部分)
清・乾隆2年(1737)
【展示期間:4/5~5/15】